

第2章 東北本線(盛岡～仙台:183.5km)

平成 27 年のゴールデンウィークを活用し、盛岡から仙台までの営業キロ 183.5 km に挑戦する。今回の挑戦は、本州踏破の達成がかかっていたので、いつもの歩きに比べプレッシャーを強く感じた。そのような原因もあり、腰の痛みに見れたのかも知れない。今回の歩きと旅の実績（7 泊 8 日）は次の通り。何れの日も天気（若干暑めであったが）に恵まれ、天や神、そしてお世話になった沿道の人達に感謝申し上げたい。今回の旅の奮戦記はカッシー館にも投稿した。



大宮駅

なお、今回登場する駅の位置関係は、

盛岡～花巻～水沢～前沢～平泉～一関～油島～小牛田～愛宕～松島～塩釜～仙台
である。

第1節 旅プラン

- ① 平成 27 年 4 月 29 日（水）： 大宮発 9 時 14 分のやまびこ 43 号で一関まで移動。一関～油島（営業キロ 18.1 km）を踏破。仙台に戻り、東横イン仙台で宿泊。
※乗車券（7,340 円）、特急券（4,750 円）
- ② 4 月 30 日（木）：油島～小牛田（こごた：32.0 km）を踏破。東横イン仙台で宿泊。
- ③ 5 月 1 日（金）：仙台から水沢まで電車で移動。水沢～花巻（29.9 km）を踏破。盛岡まで行き、東横イン盛岡で宿泊。
- ④ 5 月 2 日（土）：花巻～盛岡（35.3 km）を踏破。東横イン盛岡で宿泊。
- ⑤ 5 月 3 日（日）：水沢まで電車で移動。水沢～前沢（10.2 km）踏破。腰が痛くなり、当初の予定していた一関までの歩きを断念し、電車で移動。蔵ホテル一関で宿泊。
- ⑥ 5 月 4 日（月）：電車で前沢まで移動。前沢～一関（14.8 km）踏破。途中、平泉にある中尊寺(天台宗東北大本山)を参拝。新幹線で一関から仙台に移動。東横イン仙台に荷物を預け、在来線で塩釜まで移動。そして、塩釜～仙台（13.4 km）踏破。東横イン仙台で宿泊。
- ⑦ 5 月 5 日（火）：電車で小牛田まで移動。小牛田～塩釜（29.8 km）踏破。松島海岸

散策。新幹線で帰宅の予定だったが、腰の痛みが激しくなり、急遽、東横イン仙台に泊めて頂く。

⑧ 5月6日（水）：仙台発9時24分のやまびこ130号で帰宅。

第2節 1日目：2015年4月29日（水）：一関～油島 晴れ

いよいよ待ちにまった本州踏破の旅がスタートする。朝5時頃起床。家内に南林間まで送ってもらう。南林間7時21分の電車で新宿に向かう。新宿からは新宿湘南ライナー川越行（8時24分発）に接続されていた。お蔭で、大宮発のやまびこ43号に間に合う。自由席であったが無事座れる。一関駅には11時23分到着。一関駅構内で、ピカチュウ、かまど神、年輪に刻む一関あゆみ、個人演奏競技専用太鼓（時の太鼓）の写真を撮り、新幹線改札口を出る。その先に観光案内所があり、近郊の歩きの情報を教えて頂く。



一関駅



一関駅には大船渡線もあるので注意とのアドバイスがあった。在来線ホームに立ち食い蕎麦屋（11 時 35 分）があったので昼食とする。エビの入ったかき揚げそばは美味しかった。冷水の用意がなかったのが残念。「世界遺産」浄土の風薫る”平泉“がある一関駅（11 時 50 分）を種々のアングルから撮影して、営業キロ 7.3 km 先の有壁駅を目指す。なお、5 月 3 日（日）宿泊する”蔵ホテル一関“が徒歩 3 分先にあった。誤って、大船渡線つたい歩きにならないよう注意して歩く。

本日の歩きのコースは、下記の通り。

一関→有壁→清水原→花泉→油島



八幡宮前



新幹線下

11 時 55 分、一関信用金庫があった。12 時 1 分、八幡宮前を通過。12 時 5 分、石巻 63 km、花泉 13 km の道路標識（県道 342 号）を目にする。地図を見ずに歩いたため、6 km 位遠回りとなる。正しくは新幹線に沿って歩くべきところ、誤って 342 号を引き続き直進したのが大失敗。この失敗で歩きのスケジュールが大きく狂ってくるとは。少なくとも 1 時間半はロスする。12 時 15 分、台町通過。12 時 18 分、在来線下を潜り、鉄道の右側を歩く。丁度路線バスが私を追い越して行く。12 時 22 分、35 歩ある川を渡る。その先に一関中学校（12 時 28 分）があった。左手に新幹線、右手に在来線があった。12 時 41 分、国道 4 号線への路の分岐点があった。正解は国道 4 号線の方に進むべきところ、342 号線を歩き続ける。新幹線下を潜る。



真柴バス停



南岩手カントリークラブ

12 時 44 分、花泉 10 km、石巻 60 km の道路標識前を通過。近くに真柴バス停（岩手県交通）があった。12 時 50 分、路線バスが私を追い越して行く。13 時 2 分、宇南田バス停に到達。13 時 12 分、小西バス停前を通過。13 時 25 分、花泉まで 8 km の看板を目にする。13 時 26 分、一関市真柴を通過。13 時 41 分、一関市花泉町に入る。13 時 50 分、左手に南岩手カントリークラブのゴルフ場があった。14 時 2 分、左手にため池がある。この池を見ると故郷香川を思い出す。途中、岩手県と宮城県の県境がある。14 時 38 分、岩脇橋（有馬川）を渡る。やっと最初の踏破駅である有壁駅に、14 時 48 分到着する。丁度、上りの電車がやって来る。15 時 3 分、引き返し路で岩脇橋に到着。15 時 18 分、貴船神社前を通過。15 時 25 分、宮城県栗原市と岩手県一関市の県境を通過。15 時 32 分、遠回りした原点に復帰する。15 時 39 分、大門神楽踏切を渡る。その先に朱色の屋根の駅舎である清水原駅（15 時 58 分）があった。



有壁駅 貴船神社



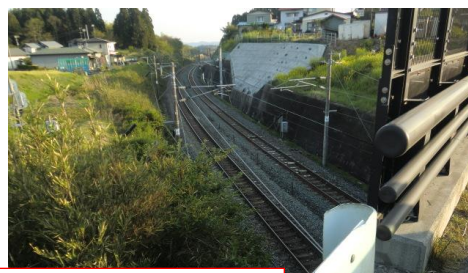
岩手県一関市 清水原駅

再度、大門神楽踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。上り貨物列車（16 時 2 分）がやって来る。16 時 21 分、県道 48 号（弥栄金成線）の花泉町下館を通過。16 時 25 分、万歩計で 118 歩ある金流橋を通過。16 時 48 分、162 歩ある天神橋を渡る。その先に花泉駅（17 時）があった。地図を確認する。うっかり 342 号線を石巻方面に誤って進むと、山間があり、リカバリーには引き返す方法しかないからだ。用心深さが功を奏する。15 時 15 分、陸橋を渡り、鉄道の右側を直進する。途中、軽トラックの運転手の方から「伴さんです

か」 との声かけられる場面もある。17 時 55 分、油島駅に到着。当初は 3.5 k m 先の石越駅を考えていたが、不案内の道中はリスクが高かったのでこの駅でアップする。18 時 14 分の仙台行きに乗り、仙台東横イン（703 号室：2 泊で 10,661 円）を目指す。仙台まで運賃は 1,320 円であった。ホテルの部屋には 19 時 55 分到着。一服して、五橋横丁の善次郎で夕食（約 2,300 円）を摂る。牛タンカレーが美味しかった。ホテルに戻るやバタンキュー。本日の営業キロは 18.1 k m、万歩計は 45,150 歩であった。



花泉駅



鉄道越え



油島駅



東横イン仙台



善治郎

第3節 2日目：4月30日（木）：油島～小牛田 晴れ

2日目の4月30日（木）は4時に起床。昨夜購入したパンを朝食とし、ホテルを5時半頃出る。昨日の遅れを挽回するため、東横インの食事をカット。仙台発 6 時の一関行き（4両編成）に乗り、昨日踏破した油島駅まで向かう。外は霞がかかり殆ど見えず。特に山間や水田が広がるエリアでは。視界は精々200m～300m位に感じた。視界が悪い中でも必至に本日の歩く道筋を窓から観察する。しかし、JAF のロードマップの通り、鉄道にほぼ並走する幹線道路は見当たらなかった。それ故、鋸型の歩きを余儀なくされるだろうと不安が募る。今回も途中数本線路を横切っていたし、山間もあった。難しコースであると察知する。その中でも、塩釜から松島の鉄道つたい歩きは、営業キロも 10kmあるし、海岸と山間で難しさを感じた。列車は要所要所で汽笛を鳴らしていた。



仙台駅



朝の油島駅

山小屋風の駅舎である油島駅には 7 時 14 分到着。油島駅到着時には霧は解消。運賃は 1,320 円要する。7 時 18 分から石越駅目指して出発する。この駅は、幹線道路に沿ってあったので、方向性を誤ることなくスタートできる。油島駅と石越駅との間に岩手県と宮城県の県境があった。後で地図で確認したところ日向平辺りであった。鉄道の左側を歩く。小学校の登校の時間であったのか、数人の小学生と対面する。7 時 39 分、道路が鉄道から離れて行く。間もなく県境の日向平であろう。8 時 8 分、小谷地揚水機場の前を通過。その先に廃線となった非電化の単線のレールが続いていた。石越駅が近かしを感じる。8 時 12 分、石越病院前を通過。この辺りは「登米市（とめ）」と道端の標識に記されていた。迷うことなく人に聞くことなく、8 時 20 分、本日最初の石越駅に到着する。



日向平辺り 石越駅

次は7.3km先の新田駅である。途中、小高い丘が横たわっていた。距離もあるし、難しい歩きが予想された。8時25分、石越跨線橋を横切り、鉄道の左側を歩く。くねくねした路を進む。辺りは広大な水田が広がっていた。田植えの準備中の水田が多かった。親父が健在であれば、この季節、ウォーキングどころではなかった……。9時6分、栗原市に入る。9時8分、601歩ある若石大橋を渡る。橋の欄干には沢山の地元文化が描かれていた。9時26分、若柳町に入る。最近では合併する前と後が入り乱れていて、最新の地名が分かりにくい。9時50分、大和田踏切手前に来るが、この踏切を横切らず。鉄道に沿った農道を歩く。10時3分、5m位の川幅の川に遮られ、大きく迂回を余儀なくされる。7から800m位はあったらどうか。やっと、橋のところまでやって来る。川釣りをしていた年配の方に、新田駅をお伺いする。「真っ直ぐ行くと県道に出る。それから暫く歩く分岐点があるので、鉄道に沿った方に進むと新田駅」との回答を得る。10時17分、荒川を渡り、県道に出る。10時24分、白鳥を記した伊豆沼の看板前を通過。10時36分、坂戸バス停前を通過。やっとのことで本日2番目の新田駅に到着する。



若石大橋



川による迂回



伊豆沼白鳥



新田駅

次は 4.7 k m 先の 3 番目の梅ヶ沢駅を目指すことにする。11 時、JR 線下を潜り鉄道の右側を歩く。叔母の緑綬（春の褒章）のお祝いの俳句を考えながら歩く。「みちのくや／共に喜ぶ／緑かな」11 時 33 分、登米市新田小学校、中学校前の看板前を通過。11 時 42 分、曹洞宗の長照寺前を通過。民家の門前で行き止まりとなる。この家の方が居られたので。梅ヶ沢駅の道筋をお伺いする。「その先の鉄道下を潜り、線路に沿って歩いた先にあります」と教えて頂く。鉄道下を潜り、鉄道に沿って暫く歩いた先に梅ヶ沢駅（12 時 10 分）があった。背後には丘があった。上りの貨物列車がやって来る。



印象に残った小さな赤い鳥居



梅ヶ沢駅

次は 3.7 k m 先の瀬峰駅を目指すことにする。名称から難しい感じに踏破になるかも知れないと察知する。12 時 18 分、新生園踏切を横切り鉄道の右側を歩く。間もなくため池あり。12 時 46 分、国立保養所“東北新生園”を通り、県道 29 号線に出る。左右どちらに進むか迷う。これまでの第六感で左に進むことにする。不安のまま進む。車を止めて、携帯で連絡している方に、「瀬峰駅の道筋」をお伺いする。「この路を行くところまでいった近郊にあります」との回答を得る。取りあえず不安は解消する。しかし、県道 1 号線の T 路地にぶつかり、左右どちらに進むかわからず。鉄道の線路が全く見えない。暫く立ち往生。誰かに聞こうとしても通行人は全く見えず。第六感で古川方面の書かれた逆の方向に進むことにする。結果 OK であった。200m 位歩いた先で、田尻と表示した道路標識を見つけ安堵する。その先に JR 線の線路が道路下を走っていた。13 時 33 分、JR 線を横切り鉄道の左側となる。13 時 44 分、五輪堂山公園があった。陸橋を渡り鉄道の右側に出、瀬峰駅（13 時 54 分）に到着する。



鉄道が見えホットする



瀬峰駅

次は 6.7 km 先の田尻駅である。陸橋を横切り、鉄道の左側を歩くことにする。14 時 16 分、238 歩ある藤田橋（小山田川）を渡る。県道 29 号線に出る。14 時 31 分、51 歩ある大水門川を渡る。14 時 38 分、田尻町に入る。陸橋を渡り鉄道の右側となる。15 時 41 分、田尻駅に到着。大沢街道踏切を横切り、鉄道の左側を歩く。15 時 52 分、道路の両側にため池あり。16 時 1 分、県道 170 号（涌谷田尻線）田尻町大沢に到着。この辺りで間違った方向に進行中。



藤田橋



田尻駅

16 時 10 分、32 歩ある百々（とど）川をわたる。そこから少し行った先で不安になり、2 匹の犬を散歩させている方にお伺いする。「随分北側に来ている。小牛田駅は南の方向なので今来た路を引き返しが必要。小牛田まで 10 km はあるよ」とのこと。先程教えてもらった現在位置を基準に修正する。1 km 位ロスしていた。先程の複雑な交差点を、本来ならば右折すべきところを誤って直進したのが失態と気付く。軽くジョギングして、16 時 47 分原点に戻る。16 時 48 分、102 歩ある田尻川大橋側道橋を渡る。16 時 57 分、38 歩ある石橋江橋を渡る。ため池のパレードとなる。17 時 16 分、水分補給。17 時 20 分、597 歩ある小牛田橋（江合川）を渡る。17 時 28 分、上着を着る。途中、陸奥東線が方向性を誤りそうになる。17 時 50 分、陸奥東線を横切る。18 時 7 分、しまむらがある。小牛田（こごた）駅には 18 時 15 分に到着。



小牛田橋



小牛田駅

小牛田駅 18 時 26 分発の電車で仙台東横インに向かう。運賃は 760 円要する。ホテルには 19 時 32 分到着。ホテルで一服した後、今日は五番横丁のミンパンティン（中華）で夕

食とする。3,379 円要する。ホテルに帰るやバタンキュウ。本日の営業キロは 32 km、万歩計は 81,328 歩と充実した一日となった。明日からは盛岡等に宿泊し、一関＝盛岡の踏破に挑戦となる。モーニングコールを 4 時に設定し就寝。

第4節 3日目：5月1日（金）：水沢～花巻 晴れ

3 日目のウォーキングは、バックを背負い、5 月 1 日（金）水沢から花巻までの 29.9 km に挑戦することにする。本日も東横インで朝食を摂らず、5 時 20 分頃チェックアウト。昨夜、ホテル近くのコンビニ（ファミリーマート）で購入したパンを朝食代わりとする。4 時前に起床。次のダイヤで水沢まで電車で移動する。運賃は 1,940 円要する。

仙台 6 時→一関 7 時 33 分 一関 7 時 59 分→水沢 8 時 22 分

本日のコースは、水沢→金ヶ崎→六原→北上→村崎野→花巻を予定。



仙台東横イン



仙台駅

水沢駅



水沢駅前の写真（8 時 22 分）をデジカメに収めて、7.6 km 先の金ヶ崎駅に向けて 8 時 28 分スタートする。駅から少し歩いた先（8 時 34 分）に中華そば“よいち”があった。思わず、昭和 59 年に他界した祖父の同じ発音の店名なのでメモする。8 時 38 分、水沢郵便局前を通過。9 時 5 分、本日歩きの地図を落としそうになるが、愛犬セブンのお守りによって助けて頂く。「セブンありがとう」と自問自答する。8 時 46 分、ランドセルを背負った少女の小学生の人形がある。9 時 10 分、JR 線を横切り、鉄道の右側を歩く。ここで暑くなり、上着を脱ぐ。



祖父と同じ発音の“よいち”



ランドセル姿の小

9 時 13 分、左手に雪化粧した山を見つける。金ヶ崎駅近郊でこの山の名称を問い合わせるが、「わかりません」の回答がある。9 時 33 分。東京から 470 km、北上まで 16 km の道路標識（中ノ町交差点）を目にする。9 時 46 分、梨畑バス停（岩手県交通）前通過。それから少し行った先に、鎮守府胆沢城古代城冊官衛遺跡（9 時 53 分）があった。10 時 4 分、八幡神社前バス停の先に史跡鎮守府胆沢城跡鎮守府八幡宮があった。



鎮守府胆沢城跡



金ヶ崎町役場

金ヶ崎駅

10 時 12 分、再巡橋（胆沢川）を渡る。左手遠くの陸橋に下り電車通過。10 時 30 分、道路標識が盛岡 61 km、北上 12 kmの地点で、生涯教育宣言の町” 岩手県金ヶ崎町” の看板を目にする。ここから、金字塔のような建物を目にする。その正体は御蔵場橋を渡った先にあった金ヶ崎町役場（10 時 40 分）であった。それから 500m位歩いた先に金ヶ崎駅（10 時 53 分）があった。赤い垂れ幕が駅舎に下ろされていた。11 時 3 分、矢来大橋（国道 4 号線）を渡し、鉄道の左側を歩く。



盛岡まで 56 km地点

六原駅

11 時 26 分、北方バス停前を通過。「緑かな 共に喜ぶ みちのく記」
11 時 42 分、盛岡 56 km、花巻 20 km、北上 8 kmの道路標識を目にする。12 時、広大な広場をもつ六原駅に到着する。六原駅より、暑さ凌ぎのため、人相が悪くなるが手拭を水に浸し被る。12 時 12 分、国道 4 号線に戻り、六原駅前郵便局前を通過。12 時 16 分、北上市に入る。入るや否や赤鳥居前の交差点があった。12 時 25 分、笹長根バス停前を通過。12 時 30 分、北上市内の道筋（254 号：相去飯豊線）に入る。12 時 38 分、JR 線下を潜り、JR 線の右側を歩く。12 時 41 分、北上市相去を通過。13 時 11 分、水田の用水路からカエルの鳴き声を聞き、幼少時代を思い出す。



北上市に入る

白山神社

13 時 13 分、白山神社前を通過。その先に新幹線の線路が近づき潜る。やっと 500m先のグリーンの橋の正体が分かる。それは、新幹線の線路であったと。13 時 28 分、相去郵便局前を通過。再度、新幹線・在来線下を潜り、鉄道の左側（13 時 41 分）を歩く。ここから、和賀川があり、迂回を余儀なくされる。前方の丸年橋を津中まで通過するが、工事中で引き返すことになる。土手を 852 歩歩き、国道 4 号線が走る丸年大橋（和賀川）のところま

で迂回する。14 時 3 分であった。そして、759 歩ある丸年大橋を渡る。橋を渡ると北上駅近かしを感じた。14 時 20 分、北上郵便局があった。そして、14 時 25 分、フコク生命北上営業所のビル(5 階建)があった。北上信用金庫もあった。その先にやっとのことで北上駅に到着。14 時 31 分であった。この辺りから右の腰が少し痛みかける。



遠くにフコク生命ビル



北上駅



レストラン蓬菜楼



諏訪神社



本町踏切



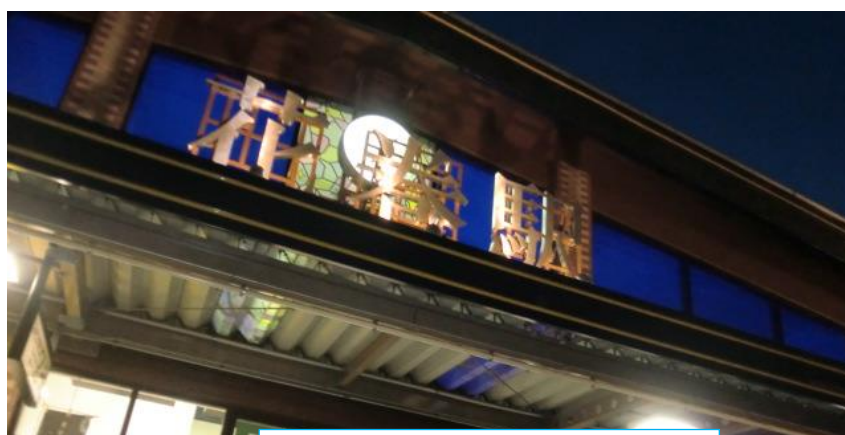
村崎野駅

レストラン蓬菜楼（ホテルメッセ北上）で、遅い昼食としてチャーハンを頂く。とても美味しかった。この店で 30 分位休息する。駅前近くには、松尾芭蕉句碑があった。15 時 12 分、諏訪神社前を通過。15 時 30 分、北上線の本町踏切を越える。この線路によって歩きに迷いを招く。何人かの通行人に聞き、村崎野駅方面の道筋を確認する。15 時 38 分、JR

線下を潜る。この路は国道 4 号線ではない道筋で、鉄道の右側を黙々歩く。15 時 42 分、民家の庭先で鯉のぼりを見る。16 時 25 分、村崎野駅に到着。先程教えて頂いた通り、「材木屋を越えた先」に目的の駅があった。ここから、7.8 km 先の花巻までは遠かった。特に市街地に入って遠いとは。



花巻駅への路



やっとのことで花巻駅へゴール

16 時 38 分、伊勢神社。17 時 5 分、国道 4 号線を越える直進する。民家の前でお伺いした奥さんのアドバイスに従い、ひたすら直進する。17 時 10 分、69 歩ある成和橋を渡る。17 時 25 分、花巻市に入る。17 時 55 分、国道 4 号線にぶつかり左に進むべきか、右折すべきか迷う。右折の小高い丘には街並みがあったので迷うことになる。信号を待って、自転車に乗った方に問い合わせる。その結果、まだ直進の回答を得る。右腰が痛くなり注意力が散漫となる。18 時 6 分、高城小学校前を通過。通行人の方に聞いて、花巻駅への道筋を教えてください。18 時 30 分、282 歩ある橋を渡る。ここから、更に何人もの人とお世話になり、やっとのことで花巻駅 (19 時 6 分) ゴールする。19 時 31 分の電車で盛岡駅 (20 時 11 分) へ。運賃は 670 円要する。盛岡駅から東横イン盛岡駅前まで遠かったこと。誤って近くの東横インに行くが、駅前の東横インとの回答を得る。200m 位の距離が 1 km 位に感じた。20 時 45 分頃、やっとのことでホテル (603 号室 : 11,806 円) に到着する。一休みした後、ホ

テル近くのコンビニで夕食を買い、ホテルで祝杯をあげる。それにしても、これまでのウォーキングの中で一番花巻駅は遠く遠く感じた。本日の営業キロは 29.9 k m、万歩計は 71.269 歩だった。



東横イン盛岡



盛岡駅